

# 6回目のスイミングスクールを実施！～水中にもぐったいジャンプをしてプールに飛び込んだり～



11月6日(水)に年長組さんが、6回目のスイミングスクールに行きました。スイミングスクールで水着に着替えると、プールサイドに集まり準備運動をしました。シャワーを浴びた後、すぐに整列し4つ班に分けられました。



どの班も初めに行ったのは、「水慣れ」を中心とした活動でした。水を体にかけて顔の洗ったりした後、プールサイドでバタ足をしました。バタ足も膝が伸び、今までより力強さが出てきました。



「水慣れ」の活動が終わると、今日の目標だと思われる、「水中にもぐる」「ビート板を使ってバタ足をする」ための活動に移りました。ある班では、プールの中でジャンプをしてもぐる練習を、また別の班では、プールサイドに置かれた「すべり台」を滑り、水の中にもぐる練習をしています。子ども達にとって一番勇気がいると思われたのが、プールサイドから「立った姿勢」でジャンプをして水中にもぐる活動です。先生がうまく手を広げて安心感を与えています。フラフープを利用し、3人一組で輪の中にもぐって入ったり、大きいビート板の両側に子ども達が並び、一斉にバタ足をしてビート板を押し合ったりと、先生方はいろいろな道具を活用して楽しい活動になるような工夫をしています。グループで行っているため、協力して楽しく活動している姿が印象的でした。



以前より技術的に進歩している点を紹介します。

1. 水の中をバタ足で進むことができるようになった。
2. プールサイドから高くジャンプして水の中に入ることができる。
3. 長い時間(5～6秒)水中にもぐっていられる。
4. 水の中で目を開けて、物を見ることができる。



次に、「さすが高ノ台幼稚園の年長さん」と思われる行動を紹介します。

1. 大きなビート板めがけてプールサイドからジャンプする活動で、怖がって跳ぶことをためらっているお友だちに対し、「頑張れ！がんばれ！」と自然に声援を送っていました。素直で優しい気持ちの子に育っていると感じました。



2. 先生のお話を聞く時やお友だちの活動を見る時など、ほとんどの子がきちんとプールサイドで「お山座り」をしています。園での「しつけ」がしっかりと生きていますと感じました。

- 【写真】(一番上左) 顔に水がかかっても平気。先生と水のかけ合いもしました。(右) 膝も伸び、バタ足も上手くなりました。(2段目左) 水中でジャンプをしてもぐる練習を。(右) 指を眉毛の所に置き、そこまでもぐります。がんばっていました。(3段目中) フラフープを利用して、3人一組でもぐる練習を。グループで取り組むので、励まし合うことができます。(4段目左) ジャンプをした後の様子。先生が待ち受けてくれるので安心です。しっかりと目を開けることができます。



- (4段目右) ビート板を使って、水中で浮く感覚を身につけています。背筋を伸ばすことがコツのようです。(5段目左・中) 板を置いて浅くなった場所で、バタ足を進みます。少しずつ「伏せ面でのバタ足」に近づいています。(右) 先生に手伝ってもらいながら、ビート板を使ってバタ足を行っています。(6段目左) プールサイドから気合いを入れて飛び込んでいます。(中・右) 両手にビート板を持ってバタ足の練習！(一番下) すべり台を利用して「もぐる」練習を！